

適用規格					
定格	使用温度範囲	-40℃ ～ +85℃		保存温度範囲	-25℃ ～ +75℃
				適合ケーブル	φ 2 コード
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外觀, 構造及び寸法	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。	図面と合致していること。	○	○
光学的性能	挿入損失	波長1310±20nm(LED)にて、下記測定系にて測定する。 1310nmLED マスターコード Vo 被測定サンプル パワーメータ Vm マスタープラグ 挿入損失=-10log (Vm/Vo) <td>1. 4dB以下 (SM) 0. 7dB以下 (GI) 1. 5dB以下 スクランプ使用時</td> <td>○</td> <td>—</td>	1. 4dB以下 (SM) 0. 7dB以下 (GI) 1. 5dB以下 スクランプ使用時	○	—
機械的性能	コードクランプ強度 (軸方向引張り)	コネクタとコード間に50Nの引張り力を加える。	①試験後挿入損失変動 : 0. 3dB以下 ②クランプ部、ファイバに異常が無いこと。	○	—
	繰返し動作	200回の抜き差しを行う。		○	—
	耐振性	振動周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0. 75 mm, 加速度 98. 1 m/s ² で2軸方向各2時間試験する。		○	—
	耐衝撃性	加速度 981 m/s ² , 作用時間 6 ms, 正弦半波 2 軸方向各 3 回試験する。		○	—
環境性能	耐湿性 (温湿度サイクル)	温度 -10 ～ +65 °C, 湿度 90 ～ 96 %中に10サイクル(240h)試験する。	①試験後挿入損失変動 : 0. 3dB以下 ②クランプ部、ファイバに異常が無いこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -40 ～ +75 °C, 8H/サイクルを 42 サイクル試験する。(Telcordia GR-326-CORE準拠)		○	—
	耐熱性	温度 85 °C 中に 240 時間放置する。		○	—
	耐寒性	温度 -40 °C 中に 240 時間放置する		○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水噴霧中に 500 時間放置する。			